

議員提出議案第 4号

奨学金返済の負担軽減策を求める意見書について

奨学金返済の負担軽減策を求める意見書を別紙のとおり提出するものとする。

令和8年6月22日

高槻市議会議員 遠 矢 家永子  
吉 田 錦 司  
鈴木りゅういち  
西 村 ゆ み  
小 森 禎 之  
高 島 佐浪枝  
中 村 明 子  
田 村 のり子  
高 木 りゅうた  
笹 内 和 志  
きよた 純 子  
川 口 洋 一  
北 岡 隆 浩

## 奨学金返済の負担軽減策を求める意見書

高等教育の無償化が進む一方で、既に貸与型奨学金を利用した多くの若年層が、卒業後も長期間にわたり返済負担を抱えている。

奨学金制度は、本来、教育の機会均等を支えるための制度であるが、返済負担が若年層の生活や将来設計に深刻な影響を及ぼしている実態がある。独立行政法人日本学生支援機構の調査によれば、多くの返還者が毎月一定額の返済を継続しており、この経済的負担が結婚、出産、住宅取得等のライフプランに影響を与えているとの指摘もある。

少子化対策や若年層の経済的自立を支援する観点からも、奨学金返済負担の軽減に向けたさらなる制度改善が求められている。

したがって、政府に対し、以下の施策を実施することを強く求める。

### 記

- 1 奨学金返済負担の軽減を図るため、返済額に係る所得控除等の税制支援を創設すること。
  - 2 有利子奨学金の金利負担軽減を進めるとともに、無利子奨学金及び給付型奨学金の対象拡大と拡充を図ること。
  - 3 減額返還制度の利用要件を緩和するとともに、企業による代理返還制度の活用促進を図ること。さらに、自治体が独自に行っている制度に国が補助すること。
- 以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和8年6月22日

高槻市議会